

子育て支援計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

1 子どもの健やかな成長

○ 子どもや家庭の健康の確保

(1) 母親・両親学級

産前・産後の生活についてイメージができ、不安の軽減につながることを目的に、体験実習を多く取り入れたプログラムで開催した。また、両親学級を委託化し、開催回数の増加を図り、参加希望者の増加に対応した。(実績報告 P.8 事業番号 1-1-2)

(2) 栄養指導講習会

ライフステージに応じた栄養指導の一環として、妊婦や乳幼児、子育てを支える方を対象とした栄養指導講習会を開催し、食を通じた健康づくりに関する知識と技術を伝達した。(実績報告 P.8 事業番号 1-1-11)

○ 児童虐待防止策の充実

(1) 児童虐待防止ネットワークの充実

児童虐待防止のため、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関相互の連携を図り、児童虐待の情報交換・状況把握に努めた。また、中学生用の児童虐待防止マニュアルの改訂や講演会等により、啓発活動を行った。今後も増加する児童虐待の防止を図るため、要保護児童対策地域協議会を中心とした虐待防止ネットワーク等を活用し、子どもと家族の支援を推進していく。(実績報告 P.9 事業番号 1-2-2)

2 子どもの生きる力、豊かな心の育成

○ 青少年の健全育成

(1) 放課後全児童向け事業

27年度から新たに小日向台町小学校において事業を開始し、事業実施校は計4校となった。また、26年度以前から実施していた小学校においても、一部実施日数及び時間を拡充した結果、27年度は、4校で延べ859日実施し、延べ参加児童数は43,174人となった。(実績報告 P.10 事業番号 2-1-2)

(2) 中高生の居場所の確保 (b-1ab (文京区青少年プラザ) 等)

文化・スポーツ、学習支援等の事業を実施するとともに、出張b-1a b等の訪問事業を実施した。また、広報誌を年2回発行するなどの広報活動により、事業の周知を図った結果、目標利用者数を超える利用に繋がった。(実績報告 P.11 事業番号 2-1-4)

(3) ひきこもり等の自立支援

相談事業(電話・来所・メール)に加え、居場所事業、社会経験を積むための段階的なプログラム、講演会・意見交換会等を実施した。また、ひきこもり等自立支援事業関係機関連絡会を4回開催し、個別ケースについて情報共有を図り、社会参加に向けた切れ目の

ない支援に努めた。(実績報告 P. 11 事業番号 2-1-5)

○ 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(1) 学校施設の整備

学校施設の改築について、誠之小学校は基本・実施設計に着手し、明化小学校は引き続き整備手法についての検討を進めていく。また、第八中学校の校庭改修、湯島小学校の給食室整備、第九中学校・青柳幼稚園の外壁・サッシ改修を実施し、教育環境の向上を図った。(実績報告 P. 12 事業番号 2-2-7)

3 地域における子育て支援

○ 地域との協働・活動支援

(1) 文京区子育てサポーター認定制度

貞静学園短期大学等の協力を得て、全国共通である子育て支援員研修を活用した、文京区独自の研修プログラムを策定した。また、子育てサポーター認定研修を 2 回実施し、延べ 36 人の子育てサポーターを認定した。(実績報告 P. 13 事業番号 3-1-2)

○ 健全育成活動への支援

(1) 青少年健全育成会への支援・連携

地域の特性を活かして実施する青少年健全育成会(九地区)の事業に対して補助を行うとともに、九地区合同行事「文の京こどもまつり」の実施や広報誌の発行を支援した。また、委員研修会 1 回、会長会 2 回、地区連絡会 3 回の開催を通して、情報交換や高校生との意見交換を行い活動の充実を図った。(実績報告 P. 15 事業番号 3-3-1)

4 すべての子育て家庭への支援

○ 保育の充実

(1) 一時保育

多様化する保育ニーズに対応するため、キッズルームかごまちの開設を行い、更なる保護者の社会活動への参加等を推進することができた。(実績報告 P. 20 事業番号 4-1-12)

(2) 私立認可保育所の整備拡充

保育所待機児童の状況を踏まえながら、私立認可保育所を 4 施設、認可保育所に幼稚園機能を備えた保育所型認定こども園を 1 施設、臨時保育所を 1 施設開設することで、保育サービスの量的拡大を図った。(実績報告 P. 23 事業番号 4-1-17)

(3) 育成室の整備及び運営

向丘育成室の耐震補強工事にあわせ、内装改修及び設備整備を行うとともに、28 年 4 月に新設する文林中学校育成室の開設準備を行った。また、指導員及び非常勤職員を対象と

した研修を6回実施し、保育の質の向上を図った。(実績報告 P. 23 事業番号 4-1-19)

(4) 子育て短期支援事業

ショートステイ実施施設を新たに開室し、児童の受入れ枠を拡大した。また、出産や疾病等のほか、就労による利用を利用要件に追加し、保護者の子育て及び就労の両立を支援するとともに、子ども家庭支援センターとの連携により、育児疲れ等の一時的な休養を必要とする子育て世帯の支援を行った。(実績報告 P. 24 事業番号 4-1-23)

○ 子育てに伴う心理的負担の軽減

(1) 子育てひろば事業

27年4月に子育てひろば江戸川橋を開設し、地域の子育て環境の充実を図った。また、28年度からは、子育てひろば汐見及び子育てひろば江戸川橋において、日曜開所を実施する。(実績報告 P. 25 事業番号 4-2-2)

○ 仕事と生活の調和に向けた啓発

(1) 男女平等参画推進事業

雇用や就労、ハラスメント対策、女性の活躍促進に係るセミナーを都労働相談センターと共催したほか、UN Women 事務所や区内大学、NPO、警察と連携し、暴力の根絶や女性の日の啓発促進事業を行った。男女平等推進の拠点施設である男女平等センターにおいても子育てや介護、防災、DV など様々な視点でのジェンダーにかかわるセミナーや講演会を行った。(実績報告 P. 26 事業番号 4-5-1)

5 子どもを守る安全・安心なまちづくり

○ 青少年のための地域環境の整備

(1) 非行防止・更生保護の推進

7月の強調月間に、文京区社会を明るくする運動推進委員会を中心として、社会を明るくする運動を実施した。東京ドーム周辺広報啓発活動では、運動の趣旨を広く呼びかけ、文京区社会を明るくする大会の講演では、参加者に対し更生保護への理解を深める機会を提供した。また、文京矯正展では、刑務作業製品の展示販売を通して、犯罪や非行防止・更生保護についての啓発を図った。(実績報告 P. 27 事業番号 5-1-1)

○ 児童の安全の確保

(1) 安全・安心なまちづくり

防犯対策を推進する地区として、新たに7地区を指定した。また、6つの推進地区に対して、防犯カメラの設置費用の助成を行った。通学時間帯や夜間に区内を自動車で巡回する青色防犯パトロール隊3団体に対して、燃料費の助成を行うほか、安全・安心まちづくり活動を行う2団体に対して、自主防犯活動等で使用する資器材の購入費用の助成を行った。「文の京」安心・防災メールの防犯等安心情報については148件配信した。(実績報告 P. 28 事業番号 5-3-2)